

国立公園満喫プロジェクト 中間評価のポイント

1.コンテンツの磨き上げ・受入体制強化

【現状】

- ▶新たに開発したオサノウチオ観察ツアー-目的で来日する**外国人**が出てきている。
- ▶同ツアーに**米国のメディア**から**取材依頼**が来ているなど**好事例**が集積。



【今後の取組の方向性】

- ▶外国人からのニーズの高い**野生生物等をテーマに体験プログラム**開発。
- ▶**多言語対応のツアーデスク・コンシェルジュ**をビジターセンターに設置。



2.引き算の景観改善

【現状】

- ▶**廃屋撤去**※等が**点での取組**に留まっている。
- ▶民間投資を呼ぶには、**エリアとしての景観改善、魅力向上**が必要。

※ 廃屋撤去実績：完了2件、対応中8件



【今後の取組の方向性】

- ▶利用拠点における**面的な景観向上**を支援する**制度**の検討。



3.利用者負担による保全の仕組み作り

【現状】

- ▶座間味村で**入島税**を導入し環境保全に活用。
- ▶大山隠岐国立公園にて、**オサノウチオツアーの料金の一部を保護活動**に活用。
- ▶大山隠岐国立公園にて、**地元バーガー料金の一部を草原景観保全**に活用。

【今後の取組の方向性】

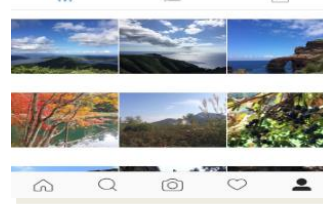
- ▶利用者負担の仕組みの**効果的な立ち上げ**を支援する**制度**を検討。



4.プロモーション

【現状】

- ▶先行8公園の**ドローン動画の撮影・無償提供**。
- ▶**ナショナルジオグラフィック**での**外国人ライターによる記事**配信。
- ▶**外国人ライターによるSNS発信**。



【今後の取組の方向性】

- ▶**新宿御苑**において、国立公園をPRするための**サテライトセンター**を設置。
- ▶**予約導線を確保した国立公園サイト**の構築、**デジタルマーケティング**の展開。



5.全国展開

【現状】

- ▶**使用許可期間の延長** (3年→10年) 等を実施。さらに民間活力を活かしていくことが必要。

【今後の取組の方向性】

- ▶さらなる民間活力等を活かした取組推進のため、**自然公園制度の見直し**を検討。

